

平成26年度 新潟市立図書館施策・事業評価シート

※ ◇全館共通項目は、中央図書館を含めた中心館が共通の意識を持って取り組んだ事業。
◆館の重点評価項目は、中心図書館が重点的に取り組んだ事業。

シートNo.1

中心図書館名：新津図書館

区分	事業名	事業概要	実施結果	評価		
				自己評価	外部評価	
課題解決型図書館	◇全館共通評価項目 ・レファレンスサービスの充実	・市民に身近な生活課題解決のため、レファレンス(調査・相談)サービスを充実させ、迅速かつ的確な情報提供を行う。	・レファレンス件数が、393件から467件と19%増加した。	・新館がオープンし、初めて利用する人も多かったせいか、レファレンス相談の件数も多くなったと思われる。	1 大変評価する。 75% 2 ある程度評価する。 25% 3 評価できない。 0%	・初めての利用者が増えたことは評価できる。 ・専用カウンターを設置してレファレンス件数が増えたことは良いこと。 ・誠意と暖かみのある対応を心掛けてほしい。 ・一層のPRが必要 ・気軽に相談できるのが良い。
	◆館の重点評価項目 ・レファレンスサービスのPR	・レファレンスサービスの広報に努める	・移転改築に併せ、貸出カウンターと別にレファレンスカウンターを設けたことにより、積極的に相談の必要な利用者を誘導し落ち着いて対応することができるようにした。	・レファレンス専用カウンターを設置し、職員が常駐することで利用者が声を掛けやすくなったと思われる。今後もPRに努めていきたい。	1 大変評価する。 87.5% 2 ある程度評価する。 12.5% 3 評価できない。 0%	・専用カウンターに常時職員がいることは利用者にとって良いこと。 ・市民への周知をもっとするべき。 ・名物職員の育成もして欲しい。 ・もっと活用を図ってほしい。
分権型図書館	◇全館共通評価項目 ・地域資料の収集	・各区を代表する人物・自然風土・産業等の地域コレクションの形成と展示を実施する。	・新館では、郷土資料室やふるさとコーナー、「鉄道」や「花と緑」などのコーナーを設け。さらに要望があったので、郷土の中を分けて「秋葉区コーナー」を設けた。	・秋葉区の資料を分けて配列したことで、利用者が利用しやすくなった。	1 大変評価する。 62.5% 2 ある程度評価する。 37.5% 3 評価できない。 0%	・秋葉区の郷土資料を分けて配置したことは分かりやすくなったので評価できる。 ・地区の特色を出したり、情報発信することはよいこと。 ・PRのため目を引くようなコーナーづくりが必要。
	◆館の重点評価項目 ・新津図書館郷土資料のホームページ公開	・新津図書館の郷土資料を積極的に展示する	・新潟県立図書館の「越後・佐渡デジタルライブラリー」事業で新津図書館所蔵の古地図をデジタル化し県立図書館のホームページから閲覧できるようにした。	・新津図書館のオリジナルの郷土資料をインターネットを通じて誰でも簡単に閲覧できるようになった。今後は新潟市立図書館としてホームページに公開できる仕組みを作りたい。	1 大変評価する。 62.5% 2 ある程度評価する。 37.5% 3 評価できない。 0%	・地域の宝である郷土資料を広く公開できたことを評価する。 ・ホームページを見ない人のためレプリカを作成し公開して欲しい。 ・県立図書館だけではなく、市立図書館のホームページに公開して欲しい。
学・社・民融合型図書館	◇全館共通評価項目 ・ブックスタートの実施	・1歳誕生歯科健診会場において、赤ちゃんと保護者に絵本の読み聞かせを体験していただく「ブックスタート」を実施する。	・秋葉区で毎月第2木曜日に実施している1歳誕生歯科健診にあわせて、読み聞かせボランティアの協力のもとブックスタートを実施した。	・ブックスタートボランティア、会場内誘導のサポートボランティアと協力することでスムーズに事業を実施できた。	1 大変評価する。 75% 2 ある程度評価する。 25% 3 評価できない。 0%	・ブックスタートは1歳だけでなく3歳の健診でもして欲しい。 ・ブックスタートの拡充について検討して欲しい。 ・健診会場から図書館に足を向けてもらう工夫が必要。 ・ブックスタートを色々な健診と合わせて実施して欲しい。
	◆館の重点評価項目 ・学校・保育園・幼稚園等への支援	・除籍図書のリサイクルの実施	・旧館の時に古くなり除籍した児童書の中で再利用できるものを学校、保育園、学童保育の団体に選んでもらいリサイクルした。(2回実施)	・不用となった図書館資料の有効活用と、いくらでも学校等への支援ができた。今後も継続するとともに、学・社・民の融合のため施設見学や読み聞かせの受け入れを行う。	1 大変評価する。 62.5% 2 ある程度評価する。 37.5% 3 評価できない。 0%	・除籍図書のリサイクルは学校図書館の充実にとって必要なこと、これからも継続して欲しい。 ・学校や園も活用して欲しい。 ・これからも学校への支援をどんどんして欲しい。
パートナーシップ型図書館	◇全館共通評価項目 ・共催事業の実施	・市民との協働をいっそう推進するためボランティア・教育機関や民間団体と連携して事業を行う。	・季節に合わせたイベントや開館記念事業を実施した。	・新館が開館し駐車場もできたことで行事を開催することができた。参加者も多かった。H27年度旧館が撤去され駐車場が拡大したので、さらに充実を図りたい。	1 大変評価する。 37.5% 2 ある程度評価する。 62.5% 3 評価できない。 0%	・イベントで人が集まってくるので色々なことを企画して欲しい。 ・市民と関わることで利用が増えるので積極的に実施するべき。 ・オリジナルで魅力的な事業の開催や様々な文化を図書館から発信して欲しい。 ・駐車場が拡充したので行事も可能になった。
	◆館の重点評価項目 ・ボランティア、図書館関連団体との連携強化	・関連団体との交流会を実施する ・よみかせボランティア講座を実施する	・10-11月に読み聞かせボランティアの養成講座を実施した。 ・3月に読み聞かせボランティアグループ代表と情報交換会を実施した。	・ボランティアグループと協働を進めていくためには、日ごろからお互いの連絡を密にとっていく必要がある。今後も定期的な情報交換をしていく。	1 大変評価する。 75% 2 ある程度評価する。 25% 3 評価できない。 0%	・ボランティアや団体との連携は図書館の運営や市民へのアピールにつながる ・図書館が中心となって情報交換の場をつくることは良いこと。 ・ボランティアの育成は大切で、養成講座や交流会を企画して欲しい。